

第6回「ものづくり体験講座」報告書

夏休み期間中、大東市内市立中学校の全生徒を対象に、大阪府立大学工業高等専門学校、大阪府立城東工科高等学校の両校の協力を得て、6回目となる「ものづくり体験講座」を実施しました。

(1) 講座 a

風を受けて歩くメカニズムの製作

日 時：平成24年7月27日（金）午後1：30～3：30

会 場：大阪府立大学工業高等専門学校（寝屋川市）

講師：金田先生



総勢8人の受講生が参加しました。教室では金田先生と助手の方に迎えて頂き、歓迎の挨拶があった後、さっそく作業に移りました。

今年度は、前回と同様に風を受けて歩くメカニズムの製作でしたが、少し形が変わっており、前回の参加者でも楽しめる内容でした。ロボットは特に足の組み立てが難しく生徒達は試行錯誤をし、先生に手伝ってもらいながら、なんとか全員時間内に完成させることができました。

生徒達は自身で制作したロボットに団扇で風を送り、動く姿を楽しんでいました。その後、金田先生より学校の説明があり、生徒達は興味津々で話を聞いていました。

(2) 講座 b

光センサー・よけロボットの製作

日 時：平成24年8月2日（木）午後1：00～4：00

会 場：大阪府立城東工科高等学校（東大阪市）

講師：木下先生



総勢12人が受講しました。鈴木校長先生から歓迎のあいさつの後、製作に取りかかりました。ロボットキットは、障害物をよけて走る「よけロボ」。ハンダ作業は初めての生徒がほとんどでしたが、担当の木下先生より、練習基板を使いハンダ付けのコツを教えてもらいました。製作には、機械系の先生方や城東工科高校の生徒の方々が受講生の指導をして頂き、順調に作業は進み、早い生徒は2時間余りで完成しました。

4時過ぎには全員が「よけロボ」を完成させ、専用の走行スペースで走らせるなど、受講生は満足そうな様子でした。

その後、木下先生から受講生に、実習室など学校を案内していただきました。受講生は、初めて見る機械を前に、驚きながらも、体を前のめりにしながら、先生の話に聞き入っていました。